

目的 体型把握の一方法として、成人男子20歳から59歳についてシルエット写真からそのシルエットの特徴を観察することを目的とする。

方法 20歳代100名、30歳代100名、40歳代100名、50歳代78名、のシルエット写真を資料とした。両上肢自然下垂の立位正常姿勢、綿トランクス着用、前面、右側面、後面を撮影した。計測点の前面13点、側面15点、後面7点の座標値をデジタイザーにより読みとらせ、コンピューターに入力し計算により、下記の角度を求めた。

1前面右肩角度、2前面左肩角度、3胸部側面、4腰部側面、5前頸部、6胸部前面、7胸部後面、8腹部前面、9背面(a)、10背面(b)、11胸部後面、12腰部後面、13後面右肩角度、14後面左肩角度、15頸付根角度。

結果 各項目の角度の範囲、および平均値、変異係数から、個人差の大きいことが観察された。特に胸部側面の角度、腹部前面の角度、背面(b)の角度は変異係数が大きい。年齢による身体シルエットの特徴は胸部に顕著にみられる。各項目角度間の相関はほとんどの項目で極めて低い相関を示すにすぎない。